



八
之
家

観世流謡曲 元和卯月本

41-001

41 定家

国立国会図書館



山のまはつる水の時はくく行はる
はらぬさるるはらぬはらぬはらぬ
まはつる僧のまはつる新の末の都をまはつる
唯ほろろ此の里をまはつるまはつるまはつる山
まはつるやまつる衣のあらぬたまはつる
雲も行はるまつる近の山をまはつるまはつるまはつる
まはつるまはつるまはつるまはつるまはつるまはつる



引^女れに時ある亭うそてうそる可るお

其心をも志ろーして立亭をば

かと思ひにわづらふ也 ^女 空く是

ある額をうれに時ある亭とこれ

こち新う面白ううそるは

女^女のたて直れたる可うそて

是ハ若原志定家卿のたて直たま

ある可ありむらちとハ

すこく志れ物あるは

亭をたてをす時あるは

愛もて款をも詠給く

古跡とに打か

志ありて縁の法

今に江戸を撰む

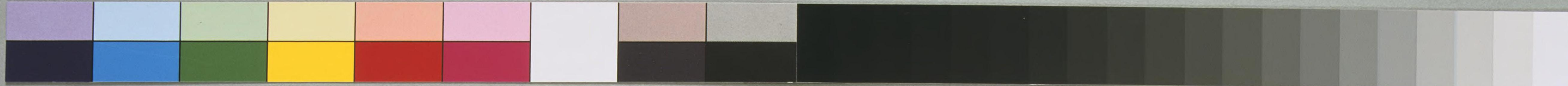
おのれまゝに心を具る為よ是も
あつりし来りしわ ハキ ねは原も
定家郷りたてよき始ふ可も
らそく時雨とくしる宿りす
ふれものとも整ひて ハ 心
りしよふまにわのちのち年々
あつりし来りしわ ハ 心

あつりし来りしわ ハ 心
らそく時雨とくしる宿りす
ふれものとも整ひて ハ 心
りしよふまにわのちのち年々
あつりし来りしわ ハ 心
らそく時雨とくしる宿りす
ふれものとも整ひて ハ 心
りしよふまにわのちのち年々
あつりし来りしわ ハ 心



乃禮よそはらわしきまねはるは
おひく是は石塔の邊へハキかき
つふは石塔をこしついでおき
たふまつし昔よりまらむか
そふは是ははるはくのみさし
はるハキは武子の親王の御
まそふは武子の親王の御
まそふは武子の親王の御

乃ハキ面白や定家うつくしき
いそはるは物うつくしき
武子の親王の御ははるは
まそふは武子の親王の御
はるは武子の親王の御
はるは武子の親王の御
はるは武子の親王の御
はるは武子の親王の御



定家乃撰心ろくともあつての暮し
 てもいまだらりくる一の部をわ
 びのちり邪壇の事執をの短を談
 ちあつては給りては語をまて
 けりん馬れぬもろをいしり
 心乃れ志をの山をりてか
 道志しり露の世しりよるま

廿五
 玉乃緒と絶あはたぬあ
 魚乃志あつるりよるあ
 あり志花すまほし知り
 ちそ又れくろあもあて
 物と思はらるる反志心るも
 ちすあつてはあつては
 朽果そ世くろあつては



さうれまごりり 荆の發もむと
露志もよきしるる 哀執をた
終のわ ^{上ロ下地} かりきき
きふもほくく ^{上母} あわ
ゆや ^{上母} たきくも
のそ、あさ ^{上母} およ
り、お ^{上母} もれ ^{上母} さま

^地 けい ^地 けい ^地 けい ^地 けい
其 ^地 其 ^地 其 ^地 其
我 ^地 我 ^地 我 ^地 我
と ^地 と ^地 と ^地 と
跡 ^地 跡 ^地 跡 ^地 跡
か ^地 か ^地 か ^地 か
見 ^地 見 ^地 見 ^地 見

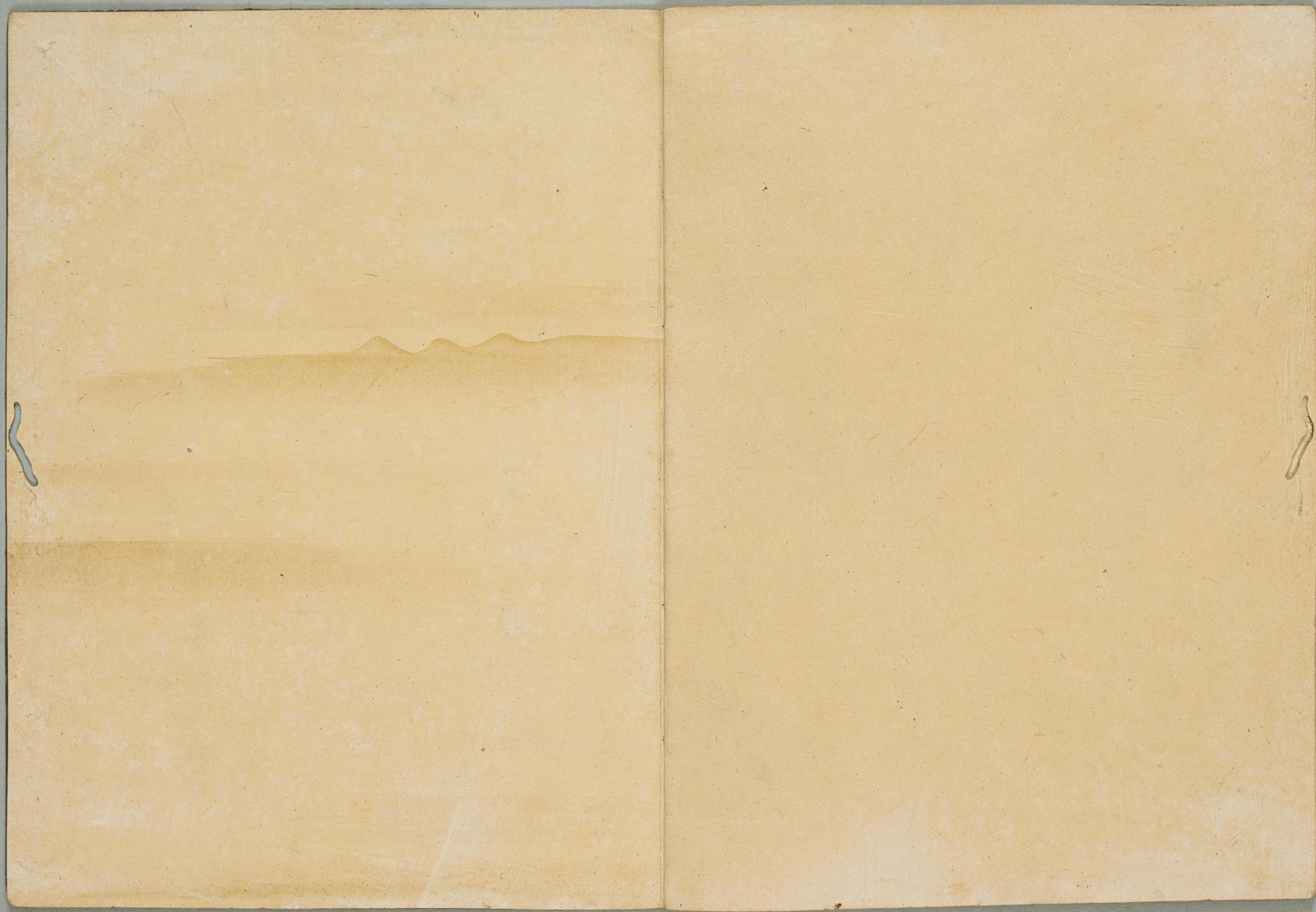
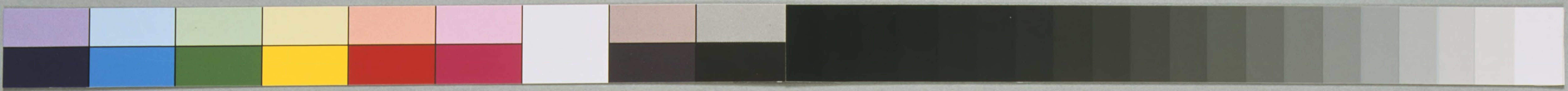
あつらひのしるはしるは横やあは痛
りや佛平は流女一味雨随宮ま住
所受不問 国^{下女}後をよとやいり浪乃
たぢおのよあま跡まても昔の
定家^中りつらよとさちわてご
く^上る^上に^上は^上あ^上ま^上う^上ぬ^上り^上有^上る^上や
唯今讀誦志^上終^上り^上ハ^上薬^上草^上論^上品^上と

あふ^上申^上く^上る^上や^上此^上妙^上典^上よ^上も^上も^上
あふ^上乃^上あ^上ら^上る^上ま^上は^上心^上乃^上高^上ま^上か
き^上て^上ら^上ふ^上ま^上そ^上ら^上道^上あ^上せ^上給^上ふ^上し
あ^上ら^上る^上新^上也^上ま^上も^上く^上是^上ら^上長^上
あ^上ら^上る^上法^上乃^上あ^上ら^上る^上あ^上ま^上ね^上ま^上は^上露^上ま^上
あ^上ら^上る^上ま^上あ^上ら^上る^上あ^上ら^上る^上も^上あ^上ら^上る^上
あ^上ら^上る^上も^上あ^上ら^上る^上あ^上ら^上る^上あ^上ら^上る^上の

あやふしきあはれなる契りの夢
乃ちあはれなるこころは路るも
くはれぬのちもいもいままら
あやふしきあはれなる契りの夢
あやふしきあはれなる契りの夢
あやふしきあはれなる契りの夢
あやふしきあはれなる契りの夢
あやふしきあはれなる契りの夢

右百番之内有る歌は直
傳右岡が左末の音早句付
依波板記程に今清書
加具少早

元和六年 観世左近大夫
卯月日 菅原五



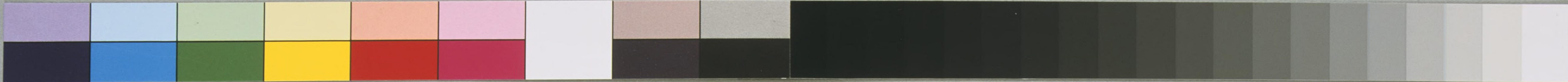
観世流謡曲 元和卯月本

41-015

41 定家

国立国会図書館





観世流謡曲 元和卯月本

41-016

41 定家

国立国会図書館

